



松山市民病院 病児保育

## アイビー通信

第5号 令和元年 9月 発行

〒790-0067

松山市大手町2丁目1-3

松山市民病院 病児保育アイビー

TEL 089-968-1319 (直通)

夏の暑さが一段落して、少しずつ秋の優しい日差しに変わってきていますね。夏は、手足口病・ヘルパンギーナと各地で大流行し、ご家族で体調を崩された方も多かったと思います。夏の疲れが溜まり体調を崩しやすい時期です。ゆっくりと休息をとり、栄養補給を十分に行いながら心身共にリフレッシュし、健康に過ごせるようにしましょう。



### アイビーってどうやって利用するの?



### 粉薬の飲ませ方

- 水かぬるま湯に溶かして、スプーンやスポイトを使ってあげる (必ず飲み残さない程度の量で溶かしてください)
  - 数滴の水でペースト状に練って、上あごや頬の内側に塗り付けた後、飲み物を飲ませてあげる
  - お子さんの好きな食べ物(ジュース、ヨーグルト、プリン、ゼリー等)に混ぜる  
※ただしミルクなど主食になるようなものには混ぜないで下さい。ものによってはお薬の効き目が弱くなったり味が変わって飲みにくくなったりする場合もあるので注意が必要です。
- ☆例えば…クラリスロマイシンという抗生剤のお薬は、酸性飲料(スポーツドリンク、オレンジジュース、ヨーグルト等)に混ぜるとコーティングが剥がれて苦味が強くなってしまいます  
～上手に飲むことが出来たら必ず褒めてあげましょう!!～

### 薬剤師より



### 夜間や休日に急な症状が出たとき

どんな場合に救急外来を受診したらよいのでしょうか?  
どんな状態ならお家で様子を見て待てるのでしょうか?

今回、「発熱」について解説します。

(赤ちゃんの発熱)

- 生後3ヵ月未満の赤ちゃんは細菌に対して抵抗力が未熟なため、細菌感染では敗血症や髄膜炎など重症化する恐れがあり、また発熱の影響で哺乳不良となり、脱水に陥る危険性もあります。  
→発熱し、活気がなく、哺乳不良の場合は、受診しましょう。
- 赤ちゃんは体温調節がうまくできず、病気でなくても、“大泣き”や“バタバタしたあと”や“厚着”により体温が上がる場合もあります。まずは、着衣を緩めたり、薄着にし、水分を摂らせたりして、しばらく時間をあけて体温を再検してみましょう。  
→再検しても37.5度以上の熱が続く場合や、活気不良、哺乳不良の場合、受診を考慮しましょう。
- 乳児の場合ワクチン接種後に発熱することがあります。  
ワクチン当日や翌朝に熱が出た場合、機嫌がよく、哺乳がいつも通りであれば、副反応とされます。  
→しばらくは自宅で様子を見て翌日も発熱が続く場合は受診をしましょう。

### 小児科医師より

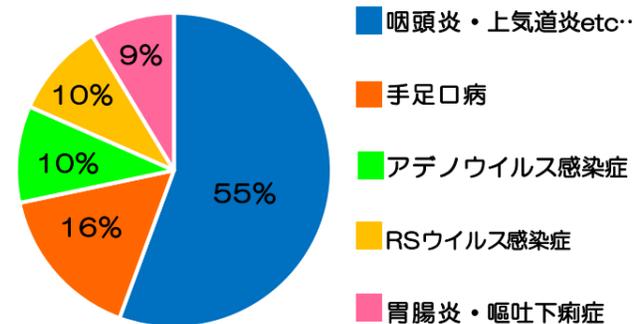


(幼児期・学童の発熱)

- 39℃~40℃の熱が出たから脳がただちに障害を受けることはありません。
- 1歳以上のお子さんの場合は、急な発熱であっても、ある程度水分がとれて、活気もあれば、次の日の朝まで受診を待つことはできます。なるべく、起きている間はこまめに水分補給をしましょう。
- 嫌がらなければ、首筋・脇の下・足の付け根のところを冷やしてあげてください。
- 解熱剤は、“38.5℃以上でかなりつらそうにしている”、“寝付けない”、“水分などをとれない”などの状況があれば、使用してもかまいません。すやすや眠れる、活気もあるという状態であれば、無理に解熱剤を慌てて使用する必要はありません。



### 利用状況(R1.6~R1.8) 延べ 472人



8月に入り、RSウイルス感染症の人数が増えてきています。手洗い・うがいを心掛けながら予防に努めていきましょう。

### 駐車場のご案内

お迎えが重なり駐車場が混み合うことがあります。建物の北側にもスペースがございますので、ご利用下さい。

